

留学生就職促進プログラム 中間評価所見

大学名：静岡大学

○「留学生就職促進プログラム委員会」における所見

1. 全体の進捗状況，取組と就職率向上の見通し

○概ね計画通りの取組である。

外国人留学生数，国内企業等への就職など実績を積み上げており，順調な進展が期待される。

2. プログラムの内容の進捗状況

○概ね計画通りの取組である。

年間を通じて充実したプログラムを提供しており，プログラムの全体像も明確に提示されている。

キャリア教育及びカリキュラム受講者数は計画を大きく上回り，キャリア教育やキャリアプランの作成支援などは上手く機能している。インターンシップ実施の連携企業数，企業への申込数は計画を上まわっている。またメンター制度が日本企業で働くことの理解を深めている点は評価できる。2週間のインターンシップが多く行われているが，長期インターンシップの実施につなげていくことが必要である。

また，企業との交流機会を通じて留学生が日本企業に関して理解を深め，両者を繋げる取組は評価できる。企業向け説明会は，留学生の採用に不慣れな企業にとって有効である。

3. 実施体制の構築，活動状況

○概ね計画通りの取組である。

教育，行政，産業の各機関が連携した取組となるよう，コンソーシアムがその役割を果たしている。コーディネーターはそれぞれの役割分担の元，緊密に連携し，セミナー・講演会等を実施している。

キャリア支援やインターンシップは委託期間終了後に民間事業化が検討されているが，マッチングサイトの機能充実のみならず，実際のプログラム企画・運営などの体制づくりが期待される。

4. 他大学が参考にできる事項等

○留学生を2つのグループに類型化して，より適切なサポートを実施している。

○日本語教育において，企業人による企業説明や日本型企業での働き方を交えて授業を実施する，いわゆる日本語教育とキャリア教育を融合する試み。

○行政書士会による留学生に対する在留資格に関する説明会を実施している。

○イベントに教員と一緒に参加する「教員伴走型」のプログラムは，習熟度の確認や現状に必要なことを指導することができ効果的である。